

福島県内で栽培した場合の米粉用品種の生育特性

福島県農業総合センター 作物園芸部稲作科、会津地域研究所、浜地域研究所

1 部門名

水稻－水稻－品種

2 担当者名

齋藤正頼、新妻和敏、佐藤克海、浜名健雄、南隼人

3 要旨

米粉用品種（パン用途2品種、麺用途2品種）について、県内3地点（郡山市、会津坂下町、相馬市）において令和5～7年度に栽培試験を行い、品種ごとの特性を把握した。

- (1) 「ゆめふわり」（パン用途）は、成熟期が8月下旬～9月上旬で、稈長が「天のつぶ」並で耐倒伏性に優れ、玄米外観が白かった。「笑みたわわ」（パン用途）は、成熟期が9月中～下旬で、稈長・穂長が長く、穂数が少なく、「天のつぶ」並に多収であった（表1）。
- (2) 「あみちゃんまい」（麺用途）は、成熟期が8月下旬～9月上旬で、「天のつぶ」と比較して9割弱～並の収量であった。「越のかおり」（麺用途）は、成熟期が9月中旬で、「天のつぶ」と比較して9割弱の収量であった（表1）。

表1 米粉用品種の本田生育、収量、玄米品質および製粉特性に関する調査結果

品種名	用途等	試験地	移植日 (月/日)	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m)	倒伏程度 (0-5)	精玄米重 (kg/a)	玄米 千粒重 (g)	アミロース 含有率(%)	損傷 デンプン率 (%)
ゆめふわり	パン	郡山市	5/15	7/24	8/30	72.6	17.8	515	0.0	58.7	22.3	6.1	7.2
		会津坂下町	5/20	7/24	9/03	76.9	19.6	537	0.0	69.0	23.0	3.3	10.4
		相馬市	5/13	7/22	9/02	85.1	17.9	486	0.6	57.5	21.7	3.7	11.0
笑みたわわ	パン	郡山市	5/15	8/10	9/25	85.1	20.9	326	0.0	69.7	22.2	20.6	6.5
		会津坂下町	5/20	8/10	9/25	89.8	21.6	380	0.2	87.6	22.7	19.2	7.7
		相馬市	5/12	8/04	9/17	93.1	21.1	329	0.8	80.3	23.0	19.4	6.9
あみちゃんまい	麺	郡山市	5/15	7/27	9/01	76.9	17.5	395	0.0	60.7	22.5	21.9	8.0
		相馬市	5/13	7/23	8/26	93.3	17.8	432	0.3	70.0	22.4	21.6	9.0
越のかおり	麺	郡山市	5/15	8/05	9/12	85.6	17.9	454	0.3	61.1	22.3	26.3	6.7
		会津坂下町	5/20	8/04	9/17	93.9	18.4	457	2.2	74.8	22.7	25.5	7.5
		相馬市	5/12	8/03	9/14	92.4	18.4	422	2.1	64.7	23.3	25.5	7.2
天のつぶ	(比較)	郡山市	5/15	8/02	9/10	76.6	18.8	512	0.0	69.0	22.8	15.9	7.3
		会津坂下町	5/20	8/03	9/17	84.0	19.2	508	0.5	84.7	22.8	15.2	9.1
		相馬市	5/12	7/30	9/13	82.7	19.0	483	0.7	72.6	23.2	15.1	8.9

1)窒素施肥量は、0.8kg/a(基肥)+0.2kg/a(出穂15日前追肥)。

2)2023～2025年度の中で、実施された試験のデータを基にして平均値を算出した。アミロース含有率、損傷デンプン率は、2023～2024年度の平均値。

会津坂下町、相馬市の「ゆめふわり」は2024～2025年度の平均値、郡山市、相馬市の「あみちゃんまい」は2023～2024年度の平均値。

3)倒伏程度は6段階評価[0(無)、1(微)、2(少)、3(中)、4(多)、5(甚)]。

4)精玄米重、玄米千粒重は、粒厚1.8mm以上、水分15%換算値。

5)アミロース含有率、損傷デンプン率の測定には、WonderBlenderで製粉し、100メッシュの網で調整した粉を用いた。

6)アミロース含有率は、オートアナライザーⅢ (BLTEC)、損傷デンプン率は損傷澱粉分析キットにより測定。

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和5～7年度
- (2) 研究課題名 水稻米粉用品種の栽培特性評価〔JAグループ福島からの寄附〕

5 主な参考文献・資料

「ゆめふわり」、「笑みたわわ」は、農研機構 東北農研、九州沖縄農研より分譲いただいた。